

令和3年度 予算

財政さやか先生が

解説!

町の財政情報

財政さやか先生
財政状況のことを教えたい。困っている生徒がいると、ヒーローのように突然登場する

今回の町の予算は、半年ぶりにあの先生が登場。令和3年度の町の予算をわかりやすく解説します。問台先 役場総務課 47-5004

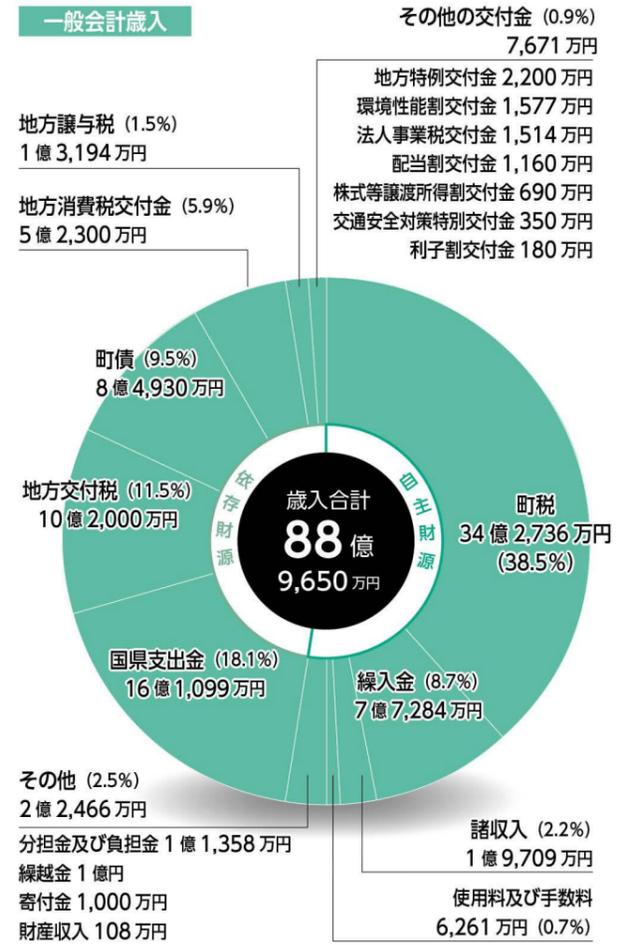
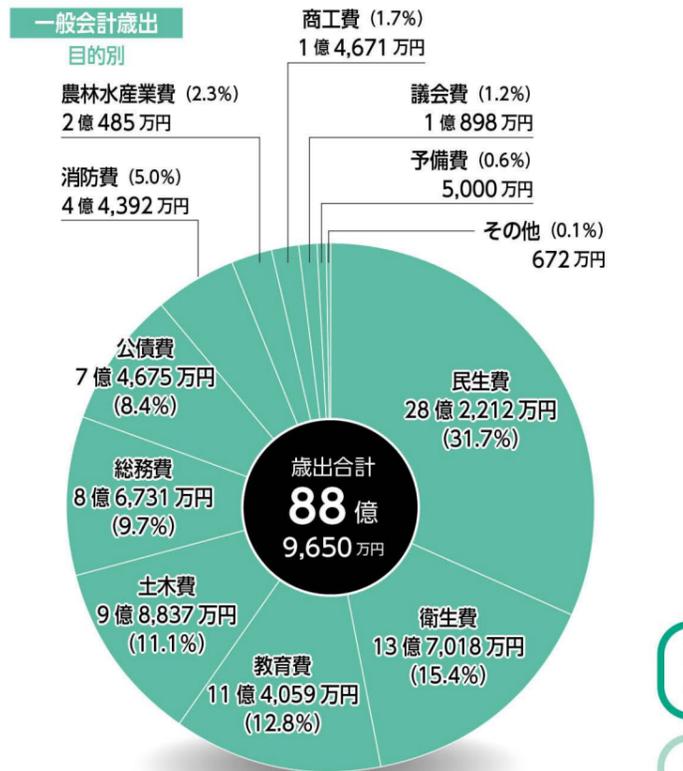
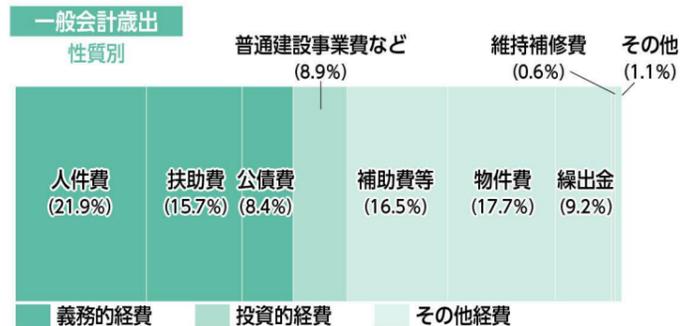


マネーのりたか君
高校20年生。好奇心旺盛で、質問好き。ひらめきがさえることも

令和3年度歳入・歳出予算

会計名	予算額	対前年度比較
一般会計	88億9,650万円	3億750万円
特別会計	国民健康保険	29億6,102万円 -1億630万円
	後期高齢者医療	3億3,446万円 1,709万円
	介護保険	21億293万円 2,630万円
	下水道事業	3億8,204万円 9,687万円
特別会計合計	57億8,045万円	3,396万円
一般・特別会計合計	146億7,695万円	3億4,146万円

令和3年度の予算を見てみよう
のりたか君 先生！お久しぶりです。決算のときは大変勉強になりました（詳細は、広報おうら令和2年10月号）。
さやか先生 それはよかったわ。で、今日はどうしたの？
のりたか君 今度は予算のことが知りたくて……。
さやか先生 わかったわ。予算のことね。基本的に用語などは決算と変わらないけれど、念のため、下に載せておいたの。確認しておいてね。
のりたか君 はい！早速なんです。新型コロナウイルスの影響で町税が減っているって聞いたんですけど……。
さやか先生 よく知っているわね！確かに、令和3年度は新



自主財源 (52.6%)
46億8,456万円
町が自ら確保することができるお金

依存財源 (47.4%)
42億1,194万円
国や県などから割り当てられたり交付されたりするお金

型コロナウイルスの影響で町税の収入は減る見込みです。でも、その分基金からの繰入金や町債、国や県の補助金などが増えているから安心して。
のりたか君 えっ、そんなに貯金を下ろしたり、お金を借りたりして大丈夫ですか？
さやか先生 町税が減るからといって、未来への投資を止めることにはならないわ。そのため、国や県の補助金を最大限に活用したり、計画的な財政運営のため基金から繰り入れたら、町債を実質的に国が負担する臨時財政対策債を活用したりしているの。
のりたか君 なるほど。未来のことをしっかりと考えて予算を作っているんですね。
さやか先生 そういうこと。主要なところでは、地区計画エリア内の生活拠点施設整備の費用など、町の未来への投資を積極的にやっているのよ。
のりたか君 そうなんです。予算のしくみのことは何となく、分かってきました。
さやか先生 興味が出てきたよね。次のページでも解説を続けていきたいと思います。

- ▼土木費 橋や道路、公園や排水路などの整備に使われるお金
- ▼教育費 学校や公民館など、教育施設の整備や運営に使われるお金
- ▼総務費 選挙や税金の徴収、広報紙の発行など、行政運営に使われるお金
- ▼公債費 町債(借金)の返済に充てられるお金
- ▼消防費 消防施設の整備費や、消防組合の負担金
- ▼農林水産業費 農家の支援や水路の整備など農業振興に使われるお金
- ▼商工費 町内の商工業者などの支援に使われるお金
- ▼議会費 町議会の運営などに使われるお金
- ▼労働費 雇用対策など、勤労者の支援に使われるお金
- ▼人件費 職員の給料や議員の報酬として使われるお金
- ▼扶助費 福祉や医療の費用として給付されるお金
- ▼公債費 町債(借金)の返済に充てられるお金
- ▼普通建設事業費 建物の建設や道路、公園などを整備するために使われるお金
- ▼物件費 備品の購入や事業の委託費などに使われるお金
- ▼補助費等 各種の補助金や負担金として使われるお金
- ▼繰出金 一般会計から特別会計に繰り出されるお金
- ▼維持補修費 町が管理する公共施設の維持保全に使われるお金

用語説明

地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、基本的・全般的な経費を処理する会計。特別会計は、特定の事業を行うために、歳入・歳出を一般会計と区分して処理するための会計です。

のりたか君 町がどんどん良くなっていく気がしますね。
さやか先生 そうですね。この2つの最重点施策の他にも、重点施策として下記の3つがあります。1つ目は、高齢者の地域の助け合いの推進や地域包括ケアシステムの構築など、健康・高齢者福祉の充実。2つ目は、防災備蓄品の更新や戸別受信機の貸し出しなどの災害対策。3つ目は、ホストタウンに関わる事業や学校給食費の多子軽減などを進める教育や文化の向上です。ここに示した例以外にも、総合計画を基に、町に今何が必要なのかを検討し、その解決や推進のために、町のお金の使い方を考えているのよ。
のりたか君 なるほど。
さやか先生 こうしたことは全て未来の町のため、そして町民の皆さんのためにやっていることなの。だからこそ、町の予算を知ることが大切なことなのよ。

第六次総合計画 重点施策

教育・文化の向上

主要事業

共生社会ホストタウン推進事業
1,081万円

トンガ王国のホストタウン・共生社会ホストタウンとして、文化交流事業やパブリックビューイングを実施

学校給食センター管理運営事業
583万円

小中学校の給食費の口座振替導入や第2子以降の給食費軽減措置を実施



第六次総合計画 重点施策

健康・高齢者福祉の充実

主要事業

生活支援体制整備事業
376万円

地域の共助活動を推進する邑助けネットワークを支援し地域の支え合い・助け合い活動に取り組む

在宅医療・介護連携推進事業
222万円

医療と介護の連携を進め地域包括ケアシステムの構築に取り組む

第六次総合計画 重点施策

災害に備えた危機管理体制の強化

主要事業

災害対策事業
786万円

防災訓練の実施や防災備蓄品の更新戸別受信機の貸し出しを実施

非常備消防事業
2,945万円

地震や台風、風水害などの発生時に消防士と共に地域を守る消防団員の体制確保を目指す

第六次総合計画 最重点施策

産業振興の推進

主要事業

生活拠点施設整備事業
2億6,084万円

国道354号沿線に農産物直売所の誘致やバスターミナルの整備を行い町民の暮らしの利便性向上を目指す

消費活性化事業
1,000万円

邑ごはん食事券事業を実施し町内飲食店の消費を喚起し、下支えを行う

第六次総合計画 最重点施策

子どもを産み育てやすい環境の整備

主要事業

幼児教育・保育給食費無償化事業
664万円

3～5歳までの町外施設に通う就学前の園児を対象に町独自の支援として給食費の無償化を実施

子育て世代包括支援センター運営事業
210万円

妊娠から出産までを切れ目なく支援。本年度からLINEを使った妊活サポートを開始

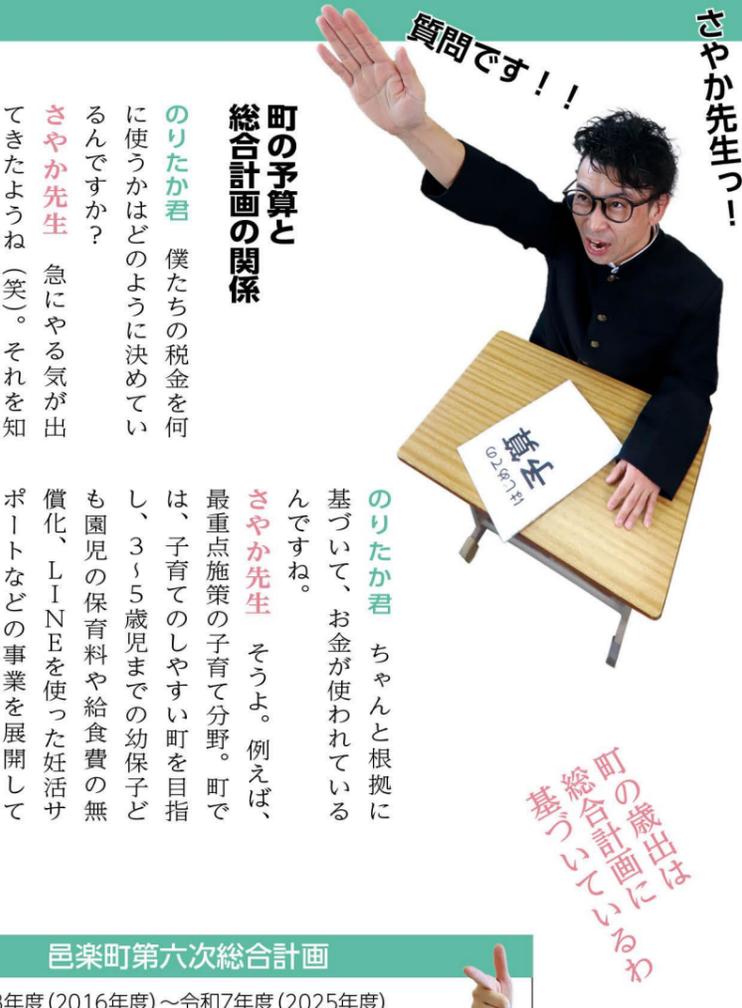


町予算と総合計画の関係
のりたか君 僕たちの税金を何に使うかはどのように決めていくんですか？
さやか先生 急にやる気が出てきたようね(笑)。それを知るには、町の将来の計画である『総合計画』を見てみて。広報おうら令和3年3月号でも特集されているわね。
のりたか君 も、もちろんです！町の最上位計画で、これからのまちづくりのことが書かれているものですよ。
さやか先生 正解！そこに町が取り組む事業や目標が書かれていて、それに基づいて、使うお金を決めているの。下記に示した例は、総合計画で重点的に進めていく事業です。
のりたか君 ちゃんど根拠に基づいて、お金が使われているんですね。
さやか先生 そうよ。例えば、最重点施策の子育て分野。町では、子育てのしやすい町を目指し、3～5歳児までの幼保子ども園児の保育料や給食費の無償化、LINEを使った妊活サポートなどの事業を展開していく予定です。
のりたか君 なるほど。他にはどんなことがありますか？
さやか先生 大きな事業として、邑楽南地区の生活拠点施設整備があるわね。この事業では、邑楽南地区地区計画のエリア内に、農産物直売所を誘致することやバスターミナルを整備することが検討されています。これは、町の農業や商業の活性化などを進めるための事業なのよ。

邑楽町第六次総合計画

平成28年度(2016年度)～令和7年度(2025年度)

- 総合的なまちづくりの指針となる計画
- 町民誰もが未来に向かって夢や希望の持てる、快適で魅力あふれるまちづくりを進めていくためのもの



邑楽町第六次総合計画

平成28年度(2016年度)～令和7年度(2025年度)

- 総合的なまちづくりの指針となる計画
- 町民誰もが未来に向かって夢や希望の持てる、快適で魅力あふれるまちづくりを進めていくためのもの